

■病院の概要

■ 病院長	岩村 威志
■ 所在地	宮崎市大字小松 1119
■ TEL	0985-47-5555
■ 研修実施責任者	岩村 威志
■ 病床数	446 床
■ 年間入院患者実数	4,699
■ 一日平均外来患者数	226.6
■ 救急取扱患者数	2,562



(平成 29 年度実績)

■研修受入診療科

外科、内科、脳神経外科、麻酔科、救急集中治療部、神経内科

研修施設の特徴

病院は宮崎市西部、高速道近くに位置し、広い地域からの患者を受け入れている。患者は急性期から慢性期、リハビリと広範にわたる。

診断部門は画像診断、病理診断と充実し、治療は、内科治療をはじめ、一般的な手術、血管内治

療、内視鏡による低侵襲手術を行っている。悪性腫瘍については、化学療法、放射線治療部門があり、集学的治療を行っている。また、集中治療部門を中心とし、救急患者、重症患者の診療にあたっている。

研修症例および指導体制の特徴

《外科》

【研修症例】

胃癌（上部消化管内視鏡検査、開腹手術、腹腔鏡下手術、EMR など）、結腸・直腸癌（下部消化管内視鏡検査、開腹手術、腹腔鏡下手術、EMR など）、胆石症（開腹手術、腹腔鏡下手術、内視鏡的乳頭切開術兼総胆管碎石術など）、イレウス、鼠径ヘルニア、虫垂炎の手術、その他、その他の小外科（粉瘤切除、皮膚腫瘍切除など）

当院は最新の内視鏡外科装置を導入しており、症例の半数以上は腹腔鏡下手術である。

麻酔科、整形外科、脳神経外科、病棟看護師と連携し、気管内チューブ挿管、血管確保、採血、それぞれの科の症例などの研修が可能である。

手術には第一助手か第二助手として参加してもらう。

【指導体制】

指導医責任者：岩村威志（外科消化器科主任部長・院長・宮崎大学医学部臨床教授）

指導医：黒木直哉（副院長）、佛坂正幸（外科部長）、樋口茂輝（外科医長）、吉山一浩（消化器科主任部長）

《麻酔科》

【研修症例】

麻酔件数 年間外科 454 例、整形外科 223 例、脳神経外科 142 例、耳鼻科 36 例（全身麻酔単独あるいは区域麻酔の併用で行う。）研修期間中 70～90 例を担当する。

各領域重症患者の集中治療管理 月 60 名 救急対応が 10～20 例/3 ヶ月

- ① 気道管理、人工呼吸、ブラッドアクセス等 70 例/3 ヶ月
- ② 緊急に対応すべき病態の症状・徴候
- ③ モニタリング
- ④ 輸液・輸血の基本から応用
- ⑤ 各種薬剤の基本と使い方の実際を学ぶ。

（教育ガイドラインについては潤和会記念病院ホームページ内麻酔科研修プログラムを PDF にて参照可能）

【指導体制】

指導医責任者：中村禎志（手術室部長）

指導医：小野洋一、濱川俊朗、成尾浩明、辛島 謙

《救急部》

《集中治療部》

指導責任者：成尾浩明（救急部長） 指導責任者：濱川俊朗（ICU 部長）

《脳神経外科》

【研修症例】

研修 3 年目

- 1) 診断・検査：神経学的検査法と所見・意識障害の判定、CT・MRI・SPECT の読影、腰椎穿刺、脳血管撮影（助手）
- 2) 患者管理・処置：術前術後の指示、頭部外傷患者管理
- 3) 手術：穿頭血腫除去術（術者）、開頭術（助手）、水頭症手術（助手）
- 4) 希望があれば院内ローテイト（放射線科、麻酔科等）

研修 4 年目

- 1) 診断・検査：脳血管撮影（術者）・頸部エコーの実施
- 2) 患者管理・処置：脳血管障害患者管理、脳腫瘍患者管理、ICU での全身管理
- 3) 手術：開頭術（術者）、水頭症手術（術者）、開頭血腫除去術（助手/術者）、クリッピング術など（助手）、血管内治療（助手）

研修 5-6 年目

- 1) 診断・検査：脳神経外科疾患の総合診断
- 2) 患者管理・処置：脳低体温療法、頭蓋内圧持続測定
- 3) 手術：開頭血腫除去術（術者）、脳腫瘍摘出術（術者/助手）、血管吻合術（術者/助手）、脳動脈瘤クリッピング術（助手）、血管内治療血栓溶解術（術者/助手）、コイル塞栓術、PTA（助手）。

【指導体制】

指導責任者：川添 琢磨（脳神経外科部長）

日本脳神経外科専門医 4 名（宮崎大学臨床教授、脳卒中専門医、脳神経血管内治療学会専門医）がおり、1 名を卒後臨床研修の担当として他の 3 名と共同で指導に当たる。